

御蔵島における頭部が消失したカラスバトの 死体の発見記録

Record of the headless carcass of Japanese Wood Pigeon *Columba janthina* on Mikura-shima Island

徳吉美国

東京大学生物多様性科学研究室 〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

MikuniTokuyoshi@gmail.com

はじめに

カラスバト *Columba janthina* は国の天然記念物および準絶滅危惧種の鳥類である。筆者は今回御蔵島においてイエネコによって捕殺されたと考えられる頭部がないカラスバトの死体を発見したので報告する。

発見状況

2022年8月1日の14時4分ごろに、御蔵島東部の長滝山登山道入り口付近の道路上(139.614995°E, 33.870457°N)でカラスバトの死体を発見した(図1)。それに先立つ同日の12時ごろ、同地点を通過した際には死体は確認できなかった。死体は頭部が消失しており、首の傷口を除くと外傷は見られなかった(図2)。死体は滅失届を御蔵島村教育員会に提出し、冷凍保存している。

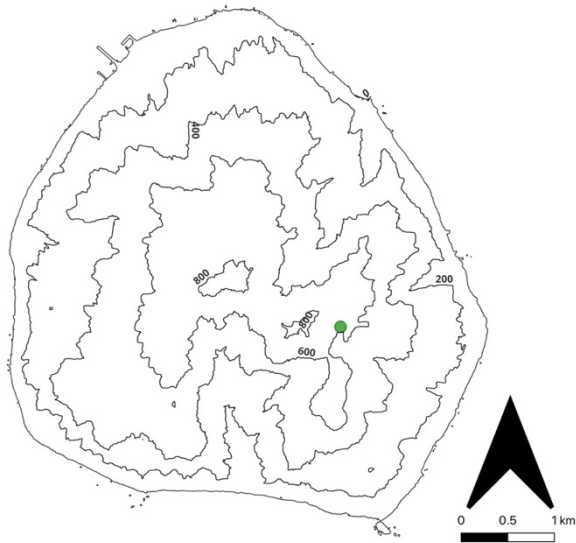


図1 カラスバトの死体の発見場所



図2 頭部の消失したカラスバトの死体

考察

御蔵島では、島に数多く生息するオオミズナギドリ(Great Frigatebird)の頭部のない死体が頻繁に観察され、傷口のDNA分析により、ネコの捕殺により生じたものであることが示されている(Nagata *et al.* 2020)。同様に、今回発見した首のないカラスバト(Karasubato)についても、ネコの捕殺の特徴である頭部の消失した状態で発見されたことから、イエネコ(Domestic Cat)によって捕殺された可能性が高い。

御蔵島ではこれまでに、オオミズナギドリが非繁殖期のため低密度になる2月

前半に捕獲されたイエネコの糞からカラスバトが検出されているが (Watari *et al.* 2025), 今回はじめてオオミズナギドリが繁殖期のため高密度に生息する 8 月においてもイエネコによるカラスバトの捕殺の可能性が高い事例が記録された。また, 既存研究において御蔵島に生息するアカコッコが 7 月にイエネコに捕殺された事例もあり (徳吉ら 2020), これらの記録から, 御蔵島においてイエネコが, 餌資源が乏しい冬季だけでなく, 餌となるオオミズナギドリが豊富な時期にもさまざまな陸鳥を捕殺していることを示唆している。

また, 死体の傷口は比較的きれいな状態であり摂食した痕跡が見られなかったことから, 摂食を伴わない捕殺によるものの可能性がある。こうした捕殺が頻繁に生じている場合, 栄養として必要とする以上に捕殺する surplus killing (Ringler *et al.* 2015) によって, カラスバト個体群に予想以上の影響が生じる可能性がある。

今後, 今回のような死体の特徴の記録を蓄積していくことに加え, 自動撮影カメラにおけるネコとカラスバトの撮影状況の関係性を解析するなど, イエネコからカラスバトへの影響のさらなる実態の解明が期待される。

謝辞

本研究は御蔵島村の許可を得て行った。また, 本研究は, 科学研究費助成事業特別研究員奨励費 22J12636 により実施した。森林総合研究所の青木大輔氏にはカラスバトの種同定に協力していただいた。

引用文献

Nagata, J., Haga, A., Kusachi, Y., Tokuyoshi, M., Endo, H. and Watari, Y. 2022. Cats were responsible for the headless carcasses of shearwaters: evidence from genetic predator identification. *Mammal Study* 47: 197-204.

Ringler, D., Russell, J. C. and Le Corre, M. 2015. Trophic roles of black rats and seabird impacts on tropical islands: Mesopredator release or hyperpredation? *Biological Conservation* 185: 75-84.

徳吉美国・岡奈理子・亘悠哉. 2020. イエネコによる絶滅危惧種アカコッコの捕獲: 御蔵島における撮影事例. *哺乳類科学*, 60: 237-241.

Watari, Y., Matsuyama, Y., Tokuyoshi, M., Nose, T., Hayama, H., Kawakami, K., and Oka, N. 2025. Unexpectedly early and drastic dietary shift of feral cats to seabirds: evidence from fecal samples of cats captured during the transition to the breeding season of the streaked shearwater on Mikura-shima Island, Japan. *Mammal Study*, 50. DOI: 10.3106/ms2024-0041.

